

令和3年度第4回「知事と一緒に生き生きトーク」発言要旨

- 1 テーマ: 社会のグローバル化を見据えた、自分の夢、将来の展望、将来自分が住みたい街について
- 2 日時: 令和3年11月15日(月) 16:00~17:20
- 3 場所: 岡山城東高校 交友会館(岡山市中区下110)
- 4 参加者: 岡山城東高校 生徒 5名

5 知事挨拶

- ・高校生の皆様から、社会のグローバル化が進展する中での自分の夢、将来展望、将来自分が住みたい街のイメージ、その実現に必要な取組、課題解決に向けたアイデアなどについてお聞きしたい。

6 発言内容等

【第3次おかやま晴れの国生き生きプラン 知事説明】

- ・生き生きプランは県政最上位の計画で、岡山の将来像(長期構想)を見据えた、行動計画、重点戦略を示している。その中には、未来に向けて計画的に投資をするものや、限られた資源の中で重点的に実施することで、現状を変えようとするものなどが含まれている。
- ・県庁の仕事には、様々な分野があり、県庁だけで業務が完結しているのではなく、各市町村、国等と連携して取り組んでいる。また、事業者等がより良く仕事に注力できるよう、監督や助力、環境整備をするのも行政の仕事である。
- ・30年後の将来像を見据えると、良い地域をつくるためには、人を育てること、また、人々が地域で生活するための産業を振興することが大変重要だと考えている。産業の育成により、税収が増えれば、道路や橋、医療など、様々な分野にお金を振り向けることができる。

【社会のグローバル化が進展する中での自分の夢】

- ・将来の夢は、管理栄養士の資格を取得して、青年海外協力隊に参加することである。発展途上国の低栄養や飢餓などの問題解決に貢献したい。
- ・将来の夢は、中学校の数学教師になることである。勉強が苦手な子どもに寄り添える教師になりたい。
- ・将来の夢は、教師の育成や思考力養成を支援するような職業に就くことである。

- ・ 将来の夢は、プロの吹奏楽団に入って演奏活動を行うことである。
- ・ 将来の夢は、裁判官か弁護士になることである。

【将来展望、地域との関わり、岡山の将来像など】

- ・ 海外で活躍したい思いがあり、そのために県外の大学へ進学することを検討している。大学で学んだ後は、アフリカ等の海外で活躍し、そこで学んだことを日本に持ち帰り、次のキャリアに繋げたい。オーストラリアからホームステイの留学生を受け入れたことを契機に英語が好きになり、今後、英語に触れる機会を増やしたい。大学では英語以外の言語も学んでみたい。
- ・ 私の住んでいる地域は子供が少なく老人が多いが、地域の繋がりが強く、近所の方から良く声をかけていただくなど、温かい地域だと感じている。また、地域の運動会に学校の先生を招待したりなど、学校との連携もできていると感じる。自分も学校の教師になり、地域の方々と信頼関係を築き、子どもたちを地域で見守ることができるようになりたい。
- ・ 教育の地域格差が県内にもあるので改善したい。課題研究として、性に関する教育の必要性について取り組んでいるが、学校間や男女間で教育内容に差があることが分かった。性に関する必要な教育がしっかりなされ、誰もが安心して暮らせる岡山にしたい。
- ・ 岡山で生まれ育ち、将来も岡山に住み続けたい思いがある。ただ岡山にはプロの吹奏楽団が無いので、県外で活動する選択肢もある。大学進学を機に一度岡山を出てみることを検討しているが、Uターンして帰ってきたい。フアジアーノ岡山のような、地域に貢献できるプロの吹奏楽団が岡山にもあると良い。
- ・ 将来の夢である裁判官や弁護士の職業は、全国各地に転勤する可能性があるが、住む地域を選ぶ際に最も重視するものは、生活のしやすさではないかと思う。今、私の住んでいる地域は人口が減少しており、地域の催事や店舗も無くなっていつている。そうすると更に人口が減り、悪循環に陥ってしまう。単に人口が多いことを望むのではなく、生活がしやすく便利であり、住んでいて魅力を感じられる岡山であれば良い。

【自分が住みたい街のイメージ、その実現に必要な取組】

- ・ 岡山がさらに国際色豊かな地域になれば良い。観光地に海外の方が居ると華やかに感じる。幼い頃から海外の方と交流する機会があれば、

国際色豊かな地域になる。岡山は国際便も豊富で、かつ、鉄道や高速道路など、交通のクロスポイントであるという強みがあるため、うまく活用できたら良い。

- ・ 子どもの人数が減り、統廃合により、地域の小学校が廃校になってしまう場合がある。犬島のアートのようなイメージで、若者に地域の素晴らしさを伝える場としての活用など、廃校になった学校の活用の幅を広げられたら、地域全体が活性化するのではないか。
- ・ 岡山に住む人が差別を受けることなく暮らしてほしい。県としてパートナーシップ制度が創設されると良い。県内では岡山市、倉敷市、総社市等が創設しており、他県では茨城県や大阪府でも事例がある。
- ・ 私の住む地域は、小学校が分校と本校の2つに分かれているほど子どもが多いが、地域の方との繋がりは強い。他の地域のことも、もっと知りたいので、自分の周りの生徒にも聞いてみたい。岡山が皆に認められる地域になると良い。
- ・ 岡山の魅力がまだまだ知られていない。県内に住む人が魅力を再認識し、また日本全国へ魅力を発信する努力が重要である。

【知事まとめ】

- ・ 10年後、20年後の将来を描き、理想に向かって努力を続けていただきたい。将来、考え方が変わったとしても、頑張ったことは無駄にはならず、経験や知識は、意外な分野で役に立つこともある。好きだから苦にならないような形で努力が続けられれば、幸せなことである。
- ・ 県としても様々な取組を進めていきたい。